労働と雇用

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

今日の問い

働く人の権利はどう守られ、働き方はどう変わってきたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 労働の権利

労働三法

4 賃金・労働時間などの最低の基準を定めた法律。

2 働く人が労働条件の改善のためにつくる団体。

1 団結権・団体交渉権・団体行動権の三つの権利。

働く人(労働者)は、やとう側の使用者(会社)とくらべて弱い立場になりやすい。そこで日本国憲法は、団結する権利(団結権)、使用者と交渉する権利(団体交渉権)、ストライキなどを行う権利(団体行動権)の三つを [1] **労働基本権** として保障している。

この権利にもとづき、働く人たちは [2] **労働組合** をつくって、賃金や労働時間などの [3] **労働条件** の改善を求める。法律も整えられており、労働条件の最低基準を定めた [4] **労働基準法** 、労働組合の活動を守る [5] **労働組合法** 、労働者と使用者の争いの解決をはかる [6] **労働関係調整法** をあわせて労働三法という。労働基準法は、1日8時間・週40時間を労働時間の上限とし、15歳未満の子どもを働かせることを原則として禁じている。最低賃金法も、賃金の最低額を定めている。

法律	主な内容
[4] **労働基準法**	賃金・労働時間などの最低基準
[5] **労働組合法**	労働組合の活動を保障する
[6] **労働関係調整法**	労働争議の解決を助ける

2 働き方の変化

非正規・両立

8 パートやアルバイトなど期間や時間が限られた雇用。

7 定年まで同じ会社で働く日本の雇用慣行。

9 仕事と生活の調和。

日本では、かつて定年まで同じ会社で働く [7] **終身雇用** と、年齢とともに賃金が上がる年功序列の賃金が広く見られた。しかし不況やグローバル化のなかで、企業が人件費をおさえようとし、パート・アルバイト・派遣労働者・契約社員などの [8] **非正規雇用** が増えた。非正規雇用は、正社員にくらべて賃金が低く、雇用が不安定になりやすいことが課題である。

長時間労働による心身の病気や過労死も問題となっている。そこで、仕事と生活を両立できる [9] **ワーク・ライフ・バランス** をめざす取り組みが進められている。育児や介護で休める制度の整備、在宅勤務などの柔軟な働き方、男女がともに働きやすい職場づくりなどである。職場での性別による差別は、男女雇用機会均等法で禁じられている。

できた ＿＿＿ /9

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。